

「人権を確かめあう日」リレーメッセージについて

市では、2004年8月11日から、毎月11日を「人権を確かめあう日」と定めています。

そして、このことを多くの人に知っていただき、人権への思いを深めていただくため、毎月11日に、庁内放送を利用して、リレー形式で各部局から人権に関するメッセージを朗読していただいています。今月のメッセージはこちらです。どうぞご覧下さい。

「人権を確かめあう日」リレーメッセージ No.251

2025.8.8 市立病院・看護専門学校



市民のみなさん、職員のみなさん、こんにちは。毎月11日は「人権を確かめあう日」です。今月は、市立病院・看護専門学校から251回目のメッセージをお送りします。

私は名張市立病院で事務職として働いています。医師や看護師のように直接治療に関わることはありませんが、外来や会計・文書対応などを通じて、患者さまと接する機会は多くあります。その中で「人権」について考える場面は多くあり、特別な場面においてのみ考えるものではなく、日常の中にこそあると感じています。

私たち病院職員が向き合っているのは、患者さまの体の不調だけではなく、患者さま一人ひとりが抱える不安や痛み、そして希望にも寄り添う必要があります。その中で「相手の立場に立って考える」という姿勢は、すべての人権を守ることに繋がっています。例えば、日本語が通じにくい外国の方への配慮、高齢の方への丁寧な説明、自分の体と心のことを安心して話せる守られた空間づくり、プライバシーを守る対応、どれもできて当たり前のことのようにですが、ひとつひとつが、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことができる社会の実現にはとても重要です。そのためには、日常生活の中で人権感覚を磨いていくことが欠かせません。

名張市立病院がすべての人にとって安心できる場所であるために、名張市立病院で働く一人として、私はこれからも日々の小さな場面の中で、人権尊重を意識し「この病院に来て良かった」と思っていただけのように、人との関わりを大切にしていきたいと思えます。

これで、市立病院・看護専門学校からのメッセージを終わります。

